

2

産業が元気になるまちづくり

■ 農林業の振興

- ・イノシシなどの有害鳥獣被害対策の拡充
- ・ハウスや育苗施設などの生産基盤の整備
- ・耕作放棄地対策の実施
- ・担い手や後継者の確保と育成
- ・利子助成などの経営安定対策の実施
- ・家畜伝染病対策の実施
- ・(独)農研機構カンキツ研究所口之津拠点の現状継続の要望



平成27年度末までに、研究機能を静岡の施設に統合するという方針が示されているため

■ 農業基盤整備の推進

- ・県営畑地帯総合整備事業で実施中の3地区の早期完成
- ・地区の事業採択に向けた取り組みの推進

■ 水産業の振興

- ・海底耕耘による漁場の改善
- ・環境・生態系保全活動支援事業などによる漁場の回復支援
- ・種苗放流による水産資源増殖保護
- ・後継者対策や販売促進などの側面的な支援
- ・漁港整備による生産基盤強化



■ 商工業の振興

- ・試食会や商談会を通じての市産品の啓発。
- ・商品券発行事業など、商工会活性化に対する支援
- ・住宅・店舗リフォーム資金補助金制度による住宅環境の整備
- ・新商品の開発・販路開拓に対する助成

■ 観光の振興

- ・農林漁業体験民宿の推進
- ・どぶろく特区の活用
- ・食の観光推進
- ・西望作品展交流事業の開催
- ・南島原ひまわり観光協会との連携強化



3

まちが元気になるまちづくり



世界遺産を目指す原城跡でのガイドの様子
南島原市の活力の源は、市民の皆さんです

■ まちづくり人材の育成

- ・まちづくり人材育成塾による地域リーダーの育成

■ 市民団体等の活動支援

- ・地域活性化グループやNPO法人、ボランティア活動団体などの積極的支援
- ・自治会活動への支援

■ 世界遺産登録の推進

- ・県および構成市町との協力・準備
- ・日野江城跡整備基本計画の策定
- ・世界遺産アクションプランの策定

■ 市内道路網の整備

- ・市内道路の新規9路線、継続24路線の整備
- ・橋梁の長寿命化修繕

■ 地域高規格道路の整備促進

- ・地域高規格道路の早期実現に向けた要望活動の積極的展開

■ 上下道の整備 水道事業統合計画

- ・水道未普及地区の解消と維持管理の効率化のための早期着工

5

その他、元気になるまちづくりの取り組み

■ 南島原植樹の推進

- ・イオン環境財団との共催で、水源涵養を目的とした「南島原植樹」の取り組みの継続



■ 加津佐前浜周辺および口之津港周辺整備事業の検討

- ・**新規** 交流・特産品販売施設(加津佐町) および前浜海岸周辺整備の検討
- ・口之津港周辺整備の検討

■ 有馬商業高校跡地活用検討委員会の設置

- ・有馬商業高校跡地の検討委員会での検討
- ・市民を交えた検討委員会の設置と、市としての活用提案

■ 水道料金の統一

- ・水道料金の段階的調整(平成28年度から完全に統一)。詳細は、広報12月号15ページに予定



4

市役所が元気なまちづくり

■ 政策評価制度の充実

- ・行政内部における政策評価事務の精度向上

政策評価：市が行った事業を客観的に評価する制度。無駄な事業を行わないなどの観点から有用とされる

- ・市民参画の外部評価組織の設置

■ 公共施設の総点検

- ・公共施設の有効利用、行政経費の節減や、合理化、コスト縮減への取り組み
- ・公共施設などの活用実態の調査を行う内部ワーキング・チームの設置と改善策の検討



- ・南島原消防署の新庁舎隣地の多目的広場整備
- ・防災行政無線のデジタル化
- ・平成23年度は西有家および深江地区の更新整備を実施

■ 新規 消防団の分団再編に伴う詰所の整備

- ・防火水槽の計画的整備



■ ふるさと応援寄附の推進

- ・ふるさと応援寄附の有効活用

平成20年5月開始。総額3,300万円余りの寄附をいただく。子どもたちの夢づくり、高齢者の生きがいづくり、芸術・文化の振興、自然環境の保全や景観づくりのため、約1,200万円を活用して事業を実施した。

■ 地域力向上支援事業による提案策の検討

- ・地域力向上支援事業による慶應義塾大学との連携
- ・同校からの提案策の実施に向けた検討

昨年11月21日に南有馬町上原で開催。広報1月号6ページで紹介。2回目は、平成23年11月23日に予定